

「CSR」の活動にも

NPO法人がチャリティー企画

名「たし」BOOK for FOREST(ブック・フォー・フォレスト)。NPO法人「森のライフスタイル研究所」(03・5721・71



森林の手入れを手伝うボランティアら。古本の有効活用が、こうした森づくりにつながる。—長野県佐久市で、森のライフスタイル研究所提供

21)によるチャリティー企画で、「不用になった本で森づくりを」と市民や企業に呼びかけている。家庭やオフィスで要らなくなった本が5冊以上あれば、インターネット中古書籍販売会社のバリューブックス(長野県上田市)が無料で回収、査定したうえで、買い取り金額の相当額が、森林の再生活動に役立てられる仕組み。CD、DVDなども対象となる。提携の宅配業者が集荷するので、

ば、インターネット中古書籍販売会社のバリューブックス(長野県上田市)が無料で回収、査定したうえで、買い取り金額の相当額が、森林の再生活動に役立てられる仕組み。CD、DVDなども対象となる。提携の宅配業者が集荷するので、全国から本を寄贈することができます。同研究所では、長野県佐久市などで、市民ボランティアらと連携した森の手入れや間伐などに取り組んでおり、寄付金は、植林や苗木の購入などの費用に充てられる。同研究所所長の竹

紛争・被災地の教育に 一役

国際協力NPOが古本回収

紛争や災害に見舞われた地域で緊急支援から復興までをサポートする国際協力NPO「JEN」(本部・東京)は、不用の本やCD、DVDなどを回収し、古本業者が買い取って、そこで得た収入をアフガニスタンやイラク、スーダンなどの子どもたちの教育に役立てるプログラム「ブック・マ

シック」に取り組んでいる。申し込みはインターネットや電話で、書籍やCD、DVDが計30点以上あれば宅配業者が無料で集荷する。買い取り金額のすべてが、紛争地や災害被災地で活動する現地のコーディネーターを通じて、学校や孤児院などの施設の建設や修復などに用いられる。



MOTTAINAIフリーマーケットで古本を回収するJENのスタッフ—埼玉県所沢市で昨年12月、井上泰子撮影

MOTTAINAI STATION&Shopも

ノーベル平和賞受賞者でケニアの元副環境相、ワンガリ・マタイさんが提唱する「MOTTAINAIキャンペーン」では、「ブック・マシック」プロジェクトに協力し、今月17日から公式店「MOTTAINAI STATION&Shop」(東京都千代田区一ツ橋1、パレスサイドビル1階)で古本の回収を始めた。

なお、JENの活動を報告するイベント「眠ってる本が学校に! スーダン編」が来月10日午後6時半から同公式店で開催される。

参加費500円。申し込み(名前と所属、連絡先はJEN(03・56225・9352)へ。メール info@mottainai.jp も受け付ける。【山本健】

再森林 スリユ本

TOKYO FM 未来授業~明日の日本人たちへ~



姜尚中さん(後列左から4人目)と

姜尚中さん「価値観の日本人たちへ」が今月11日、TOKYO FMなどで放送された。国際政治学者の姜尚中さん、解剖学者の養老孟



垣英信さん(30)は「個人はもちろん会社のCSR(企業の社会的責任)活動としても活用してほしい」と提案する。例えば、社員にオフィ

野鳥観察と雪原散策を満喫

東京電力自然学校

野鳥観察と雪原散策を楽しむ「佐久発電所調整池見学&尾瀬戸倉スノーシューツアー」(主催・東京電力自然学校)が今月5日、群馬県波川市などで開かれ、19人の親子連れらが自然を満喫した。佐久発電所(同市)は1928年に完成し、利根川、吾妻川から取水する。調整池には多くの渡り鳥が飛来し、野鳥観



一コマもあった。戸倉には、村営施設「尾瀬ぶらり館」があり、館内には「東京電力自然学校 尾瀬・

戸倉に生。歴。りや1: 魅力を倉EC いる。東京ループの星野るい。きつかければ自然とす。ぜさい」